

平成17年度 決算報告書

国立大学法人電気通信大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,663	5,759	96	(注1)
施設整備費補助金	29	0	△ 29	(注2)
施設整備資金貸付金償還時補助金	685	2,054	1,369	(注3)
補助金等収入	0	96	96	(注4)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	0	29	29	(注5)
自己収入	2,947	2,999	52	
授業料、入学料及び検定料収入	2,906	2,942	36	(注6)
雑収入	41	57	16	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	454	1,479	1,025	(注8)
計	9,778	12,416	2,638	
支出				
業務費	6,381	6,106	△ 275	(注9)
教育研究経費	6,381	6,106	△ 275	
一般管理費	2,229	2,025	△ 204	(注10)
施設整備費	29	29	0	
補助金等	0	96	96	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	454	707	253	(注12)
長期借入金償還金	685	2,054	1,369	(注13)
計	9,778	11,017	1,239	
収入－支出	0	1,399	1,399	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については前年度の繰越により予算額に比して、決算額が96百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、国立大学財務・経営センター施設費として交付されたため、予算額に比して決算額が29百万円少額となっています。
- (注3) 施設整備資金貸付金償還時補助金については、平成17年度補正予算により繰上げ償還を行ったため、予算額に比して決算額が1,369百万円多額となっています。
- (注4) 補助金等収入については、補助事業者の変更及び新たに交付を受けたことにより96百万円多額となっています。
- (注5) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が29百万円多額となっています。
- (注6) 授業料、入学料及び検定料収入については、次のとおり予算額に比して決算額が多額となっています。
- ・ 授業料については、在籍者数及び入学者数が過去の実績に基づき見込んでいた員数より多かったことにより34百万円多額となっています。
 - ・ 入学料については、入学者が過去の実績に基づき見込んでいた員数より多かったことにより14百万円多額となっています。
- (注7) 雑収入については、過去の受入実績とした予算額に比して特許関連収入等の増加により16百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、過去の受入実績から積算した目標としての予算額に比して、受入れ拡大及び前年度よりの繰越のため、決算額が産学連携等研究費 291百万円、奨学寄附金734百万円それぞれ多額となっています。
- (注9) 業務費については、退職手当支給対象者の減及び雇用計画の見直しによる人件費の節減等により予算額に比して、決算額が275百万円少額となっています。
- (注10) 一般管理費については、経費の節減等に努めたこと及び当初予定していた業務費と一般管理費の配分の見直しを行ったため、予算額に比して204百万円少額となっています。
- (注11) (注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が96百万円多額となっています。
- (注12) (注8)に示した理由等により、予算額に比して決算額が253百万円多額となっています。
- (注13) (注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,369百万円多額となっています。